

# 信仰早期に神の愛を



理事・講師 堀 肇

ここ五、六年あちこちで教えている授業との関連もあってライフサイクル(人生周期)と霊的旅路についての研究や執筆が多くなって来ました。これは人の誕生から死に至るまでの心の発達や霊的成長に関わるテーマですからきちんとした心理学的、神学的な考

察が問われる分野と云つていいと思います。その中でも最近乳・幼児期(〇〜六歳)の心の発達について今まで以上に強い関心を抱くようになりました。それは様々な世代の人達のカウンセリングに関わっていて、この「人生早期」における両

お茶の水聖書学院  
NEWS

〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台2-1  
OCCビル 2F  
TEL 03-3296-1005  
FAX 03-3296-4641  
e-mail office@obi-net.com  
Web http://www.obi-net.com  
お茶の水聖書学院  
お茶の水聖書学院後援会

親の養育態度が人の一生にいかにか大きな影響を与えているかを身に染みて感じるようになったからです。

分けても生後一、二歳頃までに母親との間に結ばれる「愛着」(アタッチメント)や「基本的信頼」については、その重要性をどれだけ強調しても過ぎることはないと思うようになってきました。それはその後三歳ぐらゐまで達成される母子分離(分離-固体化)の過程に影響を与え、それが人との関係(対象関係)の在り方の基盤を形作ってしまうからです。もし幼児が母親から無条件の愛を注がれて養育されるなら健全な分離を経て、良好な対象関係を結ぶようになつていくのです。

ところで信仰の在り方はこの母子関係と類比(アナロジー)して思ひます。私たちが信仰に入った時、どのように神に出会ったのか、その神体験の内容が信仰生活に大きく影響するのです。人生早期ならず「信仰早期」において、幼子が「わきに抱か

れ、ひざの上でかわいがられ、母に慰められる」(イザヤ六六・一二、一三)ように無条件の愛を注がれる神に出会っているならば、信仰は困難があつても健全に成長し、他者を裁いたり批判したりしてしまふ律法的な信仰に引きずり込まれずに、恵みの信仰を生き続けることができるのではないのでしょうか。

これはまた神学教育などにも深く関わる事柄です。学ぶことによつて必要な知識を修得し、ある程度概念操作ができるようになることなくしてはなりません。しかし神学校で学ぶということは究極的には福音を伝えるためであるわけですから、その根幹である十字架と復活を通して現された「愛の神」に人格的に出会うことが必要なのです。その体験こそが神学の源泉といつていいでしょう。これを信仰の最早期において体験しなくてはならないというのが私の牧会と臨床(カウンセリング)からの近年の強い実感なのです。

# スクーリングの恵み

「祈りはあなたを変える」

本科生・倉内一寿

今年も7月7～9日まで  
井沢恵みシャレーにおいて第  
13回夏季スクーリングが開  
催された。今年の講師は本郷  
台キリスト教会牧師の池田博  
師。テーマは「祈りはあなた  
を変える」であった。

第1回 祈りの土台（1）  
ルカ11・1～10

イエス様は弟子達に「主の  
祈り」によって、祈りの基本  
を教えて下さった。はじめに  
「父よ」と祈るように教えた。  
「お父ちゃん」という感じの  
ことばである。父なる神は厳  
しい威厳を持っている神であ  
ると同時に、やさしい、親し  
みやすい、愛情のある神であ

る。次に御名を崇め、  
讚美するよう教えてい  
るが、私達は主の御名をほめ  
たたえる時、私達の心に神の  
御国が来て、御国に心を支配  
されるものへと変えられてい  
くのである。大事な朝の時間  
を神さまに捧げるならば、あ  
なたの一日は祝福と勝利の一  
日となるであろう。



第2回 祈りの土台（2）  
マルコ1・32～35

イエス様の祈りは私達にとつ  
てモデルであり、目標である。  
イエス様は夜遅くまで多忙で  
あったが、次の朝早く暗いう  
ちに起きて祈っていた。イエ  
ス様はよく荒野に退かれて祈  
っていたが、神にのみより頼  
み、雑念の入り込むすきのな  
い状態で祈るべきことを教え  
ている。またイエス様のゲツ  
セマネの祈りは、苦しみもだ  
え、汗が血のしずくのように  
落ちるすさまじいものであつ  
たが、イエス様は最後に、父  
よ、みこころのままになさつ  
て下さいと祈った。ここで、  
自分の思いよりも、神の思い、  
主の御声に聞き従い、たった  
1日違いで沖繩の教会（奥様  
の母教会）からの牧師招聘を  
涙ながらに断わった感動的な  
証しがあった。

第3回 祈りは人生を変え

マタイ16・24

池田先生の救いに至る証し、  
献身の証し、そして本郷台キ  
リスト教会へと導かれ、早天  
祈禱会の開始、祈禱部の誕生  
まで祈りによって導かれたこ  
とを証して下さった。一時、  
牧師辞任の危機があったが、  
ある老婦人の「先生はまだ若  
いので頑張ってください。祈つ  
て下さい。私も祈ります。」の  
ことばによって乗り切った。  
妻の一言から早天祈禱会開催  
へと導かれ、教会の祈りの姿  
勢が変わった。その後、教会  
員のひとりから礼拝中に陰で  
祈りたいと申し出があり祈禱  
部の誕生となった。

第4回 祈りは勝利を与え  
る 詩103・1～5

奥様の池田登喜子師が証しを  
された。中学1年の時、骨髄  
炎で3年間寝たきりであった  
が不思議な導きで神山牧師と  
出会い、信仰の決断へと導か

れた。神山牧師の養女となり那覇市で開催された集会で癒しの奇跡を体験。その後ホーリネスの神学校に入り池田博師と結婚した。主は生きておられる。主は近くにおられる方、愛と祈りは勝利を与えて下さると、体験の事実を証された。

第5回 祈りは不可能を可能にする マタイ19・26 本郷台キリスト教会は、地域に仕える教会、世界に宣教師を送る教会をめざして順調に成長していった。1999年、ダイヤモンド研磨工場の跡地の購入の話があった。契約金を支払って購入契約をしたが、次の日銀行から融資はできないと返事があった。窮地の祈りの中でイザヤ33・10「今、わたしは立ち上がる」とみ言葉をいただき礼拝で証しをした。全員が悔い改めの涙を流した。これが教会全体

の流れを変え、保育所、サッカースクール、高齢者施設等を備えた新会堂が建つたのである。

「祈って聴き従う」

聖書科通信生 阿部幸平

今年の講義は池田先生が実際に歩まれた体験を通してのお話であったため、私の心に大きな説得力を持って迫ってきました。「説教が届かないと感じるとき、講壇の後ろにある祈禱室が重要です。メッセージのとき、裏で祈っている人がいることが重要なのです。教会の柱は祈りによって建てられている。あらゆる集会は祈りの上に建つ」と聞いて、自分の傲慢さを示されました。教会での自分の奉仕を振り返ると、御霊の導きよりも自分が前に出すぎていると思いました。祈りをもって聖霊

の導きに耳を傾けなくては思いました。

「お話しください。しもべは聞いております。」(1サムエル3・10)

「右か左を選ばなければならぬような人生の大切な決断は、主の御心を求めるように、御心に従う心を持って祈りなさい」と話されました。自分が前に出るのではなく、ひたすら神に聞き従うこと。そのことに徹するためには、日々の祈りが大切であることを教えられました。

池田先生が、沖縄教会に行くべきか、本郷台キリスト教会に行くべきか迷った時は、神の細き御声を聞くことの出来る耳を持つているかどうかという神のテストでした、と話されました。先生が、本郷台キリスト教会に行く事が神の御心であると信じて従われたことを知り、私もいつも神の御声に聞き従う者でありたいと思いました。



(注・阿部兄はふだんは通信科で学んでおられ、スクーリングを楽しみに毎年参加されています。新潟の小千谷で教会を支え、主日は説教奉仕をしておられます)

# 学窓トピックス

教務・福井 誠

・聖書科・通信科・音楽科

◎OBIサマースクーリングが無事終了いたしました。今夏の講師は、池田博先生（本郷台キリスト教会牧師）、テーマは「祈りはあなたを変える」でした。かつて折り紙交換をしながら伝道し、現在の教会を築き上げられた証しから、祈りの力を教えられ、学ばせられたスクーリングとなりました。参加者39名、祝福されました。

◎これからの公開講座、諸行事は、次々とおりになっていきます。ぜひ覚えてお祈りいただければ幸いです。

・秋のポーマンコンサート、9月20日、14・00開演、お茶の水クリスチャンセンター8階チャペルにて。

・秋の特別講座1、「生き生きクリスチャンライフ」おもしろ実践神学へのご案内（榎原寛師）、10月1日～11月12日、

毎週水曜日、11・00～12・45、全7回シリーズ。

・秋の特別講座2、「コロサイ人への手紙解説」（世良田湧侍師）、10月1日～11月19日毎週水曜日、13・30～15・00、全8回シリーズ。

・長崎クリシタンの旅、研究科を中心として9月25日（木）～27日（土）に実施いたします。

・聖書の世界研修ツアー、「イタリアの旅8日間」を2009年2月9日（月）～16日（月）に実施します。引率は本学院で教会史を担当する横山武師です。チャブレンは副学院長の藤原導夫師です。聖書科本科に所属する参加者には、希望により聖書科科目履修単位（2単位）が認められます。

・教会音楽デー、音楽科では、11月24日（月）1・00～5・00、練馬バプテスト教会にて、オルガン奏楽者のための学びを中心とした催しを実施します。

◎後期履修登録受付中です。後期は、新しく「聖書における女性」稲垣緋沙子師（日本福音キリスト教会連合・岩井キリスト教会牧師）が開講されます。毎週金

曜日15・30～17・00です。稲垣師は、これまでアジア福音同盟女性委員、日本福音同盟女性委員として活躍され、『聖書は女性をどう見るかー神のかたちとして造られた人』（いのちのことば社）を執筆しておられます。聖書の女性をはじめ、聖書を深く学ぶ講座です。

山口勝政師による「コリント人への手紙第一」が毎週金曜日午後1・30～3・00の日程で行われます。

◎2009年3月卒業予定者のための卒業研究指導が実施されます。通信科コース在籍の方も、修得単位数20単位以上から卒業研究指導を申し込むことができます。進め方については、ぜひお気軽に教務の福井までお問い合わせください。

[educationaldpt@obi-net.com](mailto:educationaldpt@obi-net.com)

◎聖書科通信のスタートキットが用意できました。これは、聖書科通信の科目を受講するための「おびねっと」活用マニュアルです。希望者には、配布いたしますので、お気軽に教務の福井までお問い合わせください。

[educationaldpt@obi-net.com](mailto:educationaldpt@obi-net.com)

# 主と教会に仕える同窓生たち⑦

第7期生 牧野三恵

私は七期生です。初めは聴講生でした。専修科を経て本科に進み、卒業までに7年もかかりました。一期生の三浦姉、国東姉、浪井姉とのお交わりは楽しい思い出の一つです。卒業旅行では『パウロの足跡を訪ねて』に参加でき、私の信仰生活、教会生活の貴重な一石になっていきます。

現在は『拉致問題の横田早紀江姉を囲む祈り会』のご用をさせて頂いておられます。横田姉とは雪国新潟とともにイエス様を信じました。

めぐみさんの問題が日本と北朝鮮さらに世界の大きな外交問題になるとは想像もしませんでした。

祈り会は2000年5月にスタートしました。この6月で83回を数えました。平均出席数は60名に達しました。また『ブルーリボンの祈り会』が海外も含めて30カ所余に広がり、支援者は500名にものぼっています。

最近、岩淵まことさんが、横田姉の詩『コスモス』に作曲してくださり、CD

になって発売されました。拉致問題は未だに解決しておらず、横田姉も疲れ果てています。一日も早く感謝祈祷の報告をさせて頂きたいと願わずにはいられません。

『あなたがたはこのおびただしい大軍のゆえに恐れてはならない。気落ちしてはならない。この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いであるから』

(歴代誌第二・20章15節)

教会（日本同盟基督教団下北沢聖書教会）でもいくつかのご奉仕をさせて頂いたきたいへん充実した日々を送っています。牧師が目が見えない方ですので、毎月発行の『主のまきば』や対外的な文書の口述筆記をしています。また、ピアノ、オルガンの奏楽奉仕、聖歌隊にも加わり、時にソロやデュエットもしています。

また教会が開拓した2つの教会の合同役員会にも四十代男性役員に混じって、婦人会からの役員会アドバイザーとして留まり働いています。教会は婦人会も活発です。第1週はバザーの手作り手芸、第2週は朗読会、第3週はあかし会、第4週は賛美練習です。できる限り出席し賛美奉仕もしています。



画面向かって右端が牧野三恵姉

もうひとつ、長年続けてきたことは家庭集会です。毎月第2金曜日に牧師夫妻をお招きし、昼食をとめます。ノン・クリスチャンを含め10名以上の方々が集います。毎月たいへん忙しいスケジュールです。今年も恒例の秋のバザーにはリーダー役を努めることになるでしょう。OBIの諸行事にはご無沙汰することが多いのですが、いつも祈っています。

# 映画・キリスト者との関わり①

本学院講師 伊藤淑美

◎映画に対するキリスト者の態度

極端に保守的な立場では、映画はサタンの道具であり、罪人の偶像であり、キリストにとつての最大の敵であるというような態度が取られたことがかつてありました。そうした見方のある中で、キリスト教文化の流れをひく欧米では、信仰的、聖書的また神学的なテーマを持つ優れた内容を持つ映画が、各国において制作され、多くの観客を動員しただけでなく感動を与えて来た事実があります。また各種の伝道団体により福音を直接的、間接的にあかしする映画が制作されて来ました。

映画一般に対してキリスト者がとる態度がいくつか考えられます。ひとつは道徳的、倫理的に問題のある作品は避けるべきであるという見方で、言い替えるところと見る価値があったとしても少ししかないというのです。心理的な悪影響を考えて

ホラー映画は見ないと決めている人もいます。米国のキリスト教雑誌の中には映画批評欄をもうけて、暴力、性描写、神を冒瀆する内容という基準で評価をしているようです。見る前に批評などを読んで判断をしなければならぬこともあると言えましょう。

第二は映画を見るにあたり、作品の中にはしばしば神や信仰をあざ笑ったりするものがあるゆえ、注意が必要であるという態度があります。たしかに子どもたちへ悪影響を及ぼす恐れのある作品があるだけに注意が必要と言えましょう。ここで覚えておきたいのは、神がすべてを是認したわけではありませんが、人間の罪深さの現実を示すために、聖書には残酷な暴力行為や露骨な性描写も記録されており、決してきれいごとのみを記していない、ということなのです。この点は、映画を見る場合にも心得ておくことが求められるのではないのでしょうか。キリスト者になる前には善悪を云々することなく無差別に見ていたのが、入信後は「選別」して見るようになった、という経験を持

つ方々もあると思います。

第三は、映画を鑑賞することで、人生の意味をさまざまな角度から学ぶことができるという積極的な態度があります。監督や脚本家がどの程度意識していたか、あるいはしていなかったはともかく、結果的には聖書的、信仰的、神学的テーマをドラマやストーリーを通して、抽象的ではなく具体的にまた感動的に描き出していることで学ぶことが多いという見解とも言えます。聖書的、信仰的であることが自明の映画（例・「十戒」「パツシヨン」）以外の作品の中にも、そのような意味合いを持ったものが話題を呼んだのです（ピリピ四・八）。

◎聖書の視点から映画を見る

関西学院大学の栗林輝夫氏の著書「シネマで読む旧約聖書」「シネマで読む新約聖書」は、「映画には聖書の物語があふれている！」と記していましたが、あげられた諸作品を見るとまさにその通りであることがわかります。ふたつほど例をあげてみましょう。

一九二四年の第八回パリ・オリンピックで実際に起きた事件を題材にした映画

「炎のランナー」は、安息日を守って百メートルを走ることを拒否した主人公エリック・リデルが、平日の四百メートルに出場して優勝するというあらすじです（彼はのちに宣教師となつて中国に行き、第二次大戦中の日本軍の捕虜収容所で四十三才の若さで死亡したのです）。

著者によれば、『人生そのものをうたいあげた感動のスポーツ映画』では決してなく、ましてや『青春と愛』などという、甘くセンチメンタルな主題ではさらさらなく、国家と信仰の自由、言いかえれば国王や国に服従してその榮譽のために走るのか、それとも神に従つて自由を喜びながら走るのか、そのどちらかを選択するのかということなのです。（シネマで読む旧約聖書一〇二ページ）。

もうひとつの例は、交通事故で突然母親を亡くした四才の少女「ポネット」の物語です。死の意味をまだ分かっていない彼女は、人形を抱き母親の帰ることを願つて小さな手を合わせて神に祈ります。そしてもう一度会いたいと母の墓を、涙を目にいっぱいいたため掘り始めたとき、「ポネット！」と呼ぶ声がして母親が姿

を見せました。抱きつこうとするポネットを押しとどめた彼女は、『パパと仲良く暮らしなさい。でもママのことは忘れないで。』と言つて去つて行ったのです。ポネットをかかわいそうに思った親戚のおばさんは、よみがえられたイエスさまとやがてママも復活するという話をして元気づけようとなりました。

「この映画は、日本では死んだ母親との再会を祈り続けた幼い少女の『切ない物語』『魂を揺さぶる感動的な傑作』などと紹介されたのですが、それはまあそうですが、それよりもマグダラのマリアと復活のイエスの物語をベースにした作品であることは見逃せません。」（シネマで読む新約聖書一四七ページ）。

かなりの数の洋画は、その背景に聖書的な要素を持つているのですが、聖書の知識が欠けていると、本来意図されたことが伝わらず、または把握できず、通一遍の見方や見当違いの批評をしてしまうことが前述した二つの作品に対するコメントの例でも分かります。

主イエスは日常生活の出来事、状況をたとえ話として用いられ、効果的にメッ

セージを告げられましたが、映画は現代のたとえ話と異なるのではないでしょう。キリスト者は聖書的な視点を念頭に置きつつ鑑賞するならば、ドラマや物語からメッセージを受け取ることができません。映画は見る者を単に楽しませるだけではなく、知性や感情、経験に訴えて、人生の根本的な諸問題について教え、考えさせてくれる役割を果たしてくれるでしょう。良い作品は、ストーリーも感動を与えるように構成されており、映像も美しく、音楽も効果的で、登場人物の姿や声が脳裏から消えず、感動もいつまでも残ります。すべての作品にあてはまるわけではありませんが、映画評論家の故水野晴郎氏のことばを借りると「映画つて本当にいいもんですね」という面があることも覚えておきたいと思えます。なぜなら映画鑑賞を通して神を見いだし、信仰に目覚めた人々もいるからです。

（つづく）

（伊藤淑美師プロフィール・米国カヴェナント教会立ノースパーク大学卒業、元日本聖契キリスト教団鶴見教会牧師、元聖契神学校校長）

第8期収支報告  
(2008年3月1日～2008年6月30日)  
(単位・円)

第8期上期4ヶ月収入	
授業料収入	3,038,572
行事収入	0
献金収入	3,670,099
助成金収入	1,000,000
その他収入	21,463
後援会献金	400,000
収入計	8,130,134
第8期上期4ヶ月支出	
学事支出	3,685,558
行事支出	7,604
経費支出	3,515,177
その他支出	121,242
支出計	7,329,581
当期中間収支差額	800,553

◎OB I会計報告

主の御名を賛美いたします。いつもOB I会計のためにご支援、お祈りいただきありがとうございます。第8期上半期4ヶ月(2008年3月1日～2008年6月30日)が経過しましたので、ここにご報告いたします。

在校生は、聖書科85名(内12名は専ら通信による)、音楽科18名となっております。また7月に開催された夏期スクーリングでは、約40名の参加者に恵まれ、たいへん感謝でした。

教員・スタッフが一致してOB Iの学院としての充実によりいっそう努力してまいりますので、今後とも何卒、関係各位の御指導、御鞭撻の程、御願ひ申し上げます。

(OB I会計)

▽後援会維持献金

(2008・4・1～8・5)

有田貞一 有田美栄子 飯島多稼夫  
猪狩友行 小野沢恵子 金本悟  
木下順子 国東恵子 窪井節子  
小林喜久雄 斉藤とし子 佐藤敬  
佐野謙次 佐野寿美子 須子都  
関節子 世良田湧侍 田中恵子  
中川和代 浪井弘子 西満 平松庸一  
福井誠 藤原導夫 増尾善文  
増田誉雄 松岡常子 三浦喜代子  
三浦秀弥 宮本三枝子 目崎由紀子  
森登 森本馥 依田和子 植木朋子  
芳賀功 中島總一郎 日名富子  
▽後援会協力献金  
羽鳥明 脇坂勇 山口勝政 窪田淳子  
生田今日子 中山キリスト教会  
▽夏季献金  
三浦秀弥 飯島多稼夫 三浦喜代子  
宮本三枝子 日名富子 杉山礼子 森登  
大洲セツ 伊藤洋子 米田由起子  
島田裕子 滝田幸恵 高野富男 東利雄  
田中美枝子 阿部幸平 加茂康一・早苗  
高崎公子 鈴木ますみ 中島總一郎  
増田誉雄 堀口容子 田畑勝敏 須子都  
安藤谷子 宮内芳枝 吉村瑠美子  
尾原光彦 三友康子 玉松陽子  
倉内一寿 藤原導夫

市川北バプテスト教会

▽OB I協力献金

国東恵子 絵鳩彰 腰越独立教会  
鶴瀬恵みキリスト教会  
▽召天記念献金  
芳賀功  
▽夏季スクーリング献金

三浦喜代子 藤原智子 三浦秀弥  
▽図書指定献金  
コイノニヤ宣教協力会

◎後援会からのお願い

『OB Iを祈り支える後援会』は今日まで皆様方の熱いお祈りと献金によってOB Iを支えてまいりました。深く感謝申し上げます。今後ともいっそうのご協力をお願い申し上げます。

新しい維持献金者を求めています。郵便預金から自動振替の手続きをさせていただいたら幸いです。金額は一口千円からです。

ご賛同、ご協力いただける方には、所定の「自動払い込み利用申込書」をお送り致しますので、OB I事務局までご一報いただければ幸いです。

03・3296・1005